



いろは呑龍新聞

2020年(令和2年)12月号
第60号

いろは呑龍トンネルに貯めた水を桂川へ放流するポンプ場を造っています。

呑龍ポンプ場・土木工事の完成

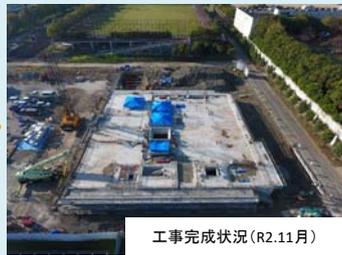
ニューマチックケーソン工法により鉄筋コンクリート構造物を地下に沈下させる呑龍ポンプ場土木工事(地下構造物構築工事)が、令和2年11月30日に完成しました！

地下構造物の大きさは42.5×39.5×高さ42.7m、コンクリート総打設量は約32,800m³の大規模なものです。

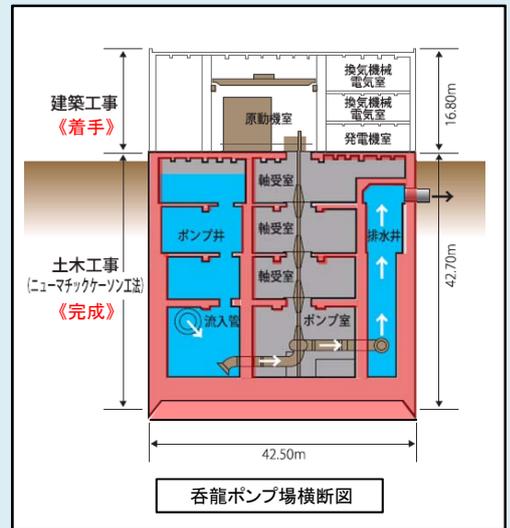
呑龍新聞でも紹介してきましたが、ニューマチックケーソン工法は、地上で鉄筋を組立ててコンクリートを打設し、ポンプ場躯体を構築すると共に、躯体下部に地下水浸入を防止するため、周辺の地下水圧と同等の気圧をかけた地下作業室を設け、その室内で土砂掘削を行う工法です。ケーソン底部の掘削と土砂搬出によって周辺摩擦とバランスを取りながら、徐々に地下に構造物を沈下させました(総沈下量37.5m、沈下期間約10ヵ月)。



工事中の現場状況(R2.3月)



工事完成状況(R2.11月)



呑龍ポンプ場横断面図



ポンプ井地下2階



ポンプ井地下4階



ポンプ室地下4階

呑龍ポンプ場・建築工事等

地下構造物の完成に続き、現在、既に後続工事である地上部分の建築工事(建築、建築電気、建築機械)、地下約30mに毎秒5m³の雨水排水ポンプを2台設置する機械工事が始まっています。

現場には日本に数台しかない550tクレーンを始めとした大型クレーンを複数台配置し、全8工事業者が相互調整を図りながら作業を進めており、ポンプ場の工事は最盛期を迎えています。

令和3年度に予定しているポンプ場の供用開始を目標に、順次工事を進めていきます。



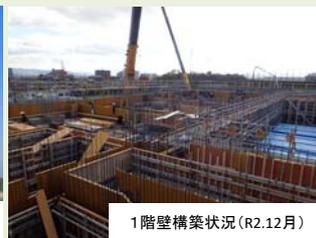
工事中の現場状況(R2.12月)



工事中の現場状況(R2.12月)



550tクレーン



1階壁構築状況(R2.12月)



地下4階ポンプ組立状況

お知らせ

呑龍新聞は、次号より工事の進捗に合わせた発刊となります。

今後も引き続きポンプ場の完成まで、工事の進捗状況や設備を紹介させていただきますので、ご期待ください。

また見に来てね！



いろは呑龍新聞バックナンバーはこちらから
<http://www.pref.kyoto.jp/ryuiki/donryu.html>